

福竜丸だより

都立・第五福竜丸展示館ニュース

(財) 第五福竜丸平和協会

〒136 東京都江東区夢の島3-2
都立・第五福竜丸展示館内
電話 (521) 8494

● 100万人参観者運動をノ

'81年8月来館者数 3,982名

通算1カ月平均来館者数 3,785名

通算1日平均来館者数 147名

通算来館者数 234,729名

主張

9・23久保山愛吉記念日は、今日の核問題への警鐘

世界の水爆犠牲者第一号

いまから二十七年まえの一九五四年三月一日のアメリカの最初の水爆実験によるビキニ事件で、第五福竜丸無線長の久保山愛吉さんの死は、それが世界で最初の水爆犠牲者という重大な意味をもっていたのです。

歌人故・中原綾子さんは、これを見よ 全世界 人ひとりの死にはあらぬを痛切に表現していますが、たしかに、単なる一個人の死ではなく、水爆そのものへの死の警告だったので。

水爆時代突入への警鐘
それまでアメリカを先頭にソ連、英、仏による烈しい原爆開発競争は、ビキニ事件をきっかけに、新しい水爆による軍拡競争の時代に突入したのです。

原爆に比べて何百、何千倍も強力な殺人兵器・水爆の出現によって、核兵器問題

題は全く新しい様相を示しはじめたのです。

原爆は人類の生存に重大な脅威を与えた殺人兵器ですが、水爆は人類の生存そのものの否定―人類の絶滅を意味する兵器として出現したのです。

それは全世界の核兵器が広島原爆の五万個に相当する量になっている事実とともに、その質そのものの飛躍を示しています。

ノー・モア・ビキニの重み
去る原水禁世界大会の東京宣言に「ノー・モア・ビキニ」のスローガンが欠けていることは、偶然ではなく、ビキニ事件への認識の欠如であると言われても仕方のないことです。

そのスローガンを無視した人たちは、ビキニを核実験の代名詞として捉え、だから核兵器の全面的禁止にたいする歪小化と捉えたのでしょうが、もし、そうだとすると、大へんな誤りです。



久保山愛吉記念の意義
そのビキニ事件の表徴・第五福竜丸の死者・久保山氏を記念する九・二三集会は、ビキニ事件の真相―水爆時代に入った核兵器全面禁止を求め、ノー・モア・ビキニのスローガンの重みを再確認する絶好のチャンスでもあります。

それは、ともすると秋風とともに下火になる原水禁運動の継続と日常化を回復する重大な転機となるでしょう。

核兵器廃絶の日まで

榎田さん・針尾島さんの生気

八月七日、空港から市内へむかうバスの外は、すでに夕闇であった。

ホテルのロビーで偶然に東京の針尾島カッさんにお会いする。平和協会主催の知集いの常連で、若い参加者の多い中でのその姿は何も語らずとも何かを訴えかけられるように感じさせる。

すでに長崎の熱気をいっばいにうけ、東京でおあいする

時より若々しい。弟さんを長崎の原爆で亡くされたと耳にする。

翌八日。分科会。被爆の実相の普及の会議に参加する。

榎田ふきさんのあいさつで始まる。「核兵器廃絶の見とおしを見なければ死ねません」。分科会一番の高齢者でありながら、一番若々しい榎田さんを近々と見つめ、改めてその元気に驚かされる。

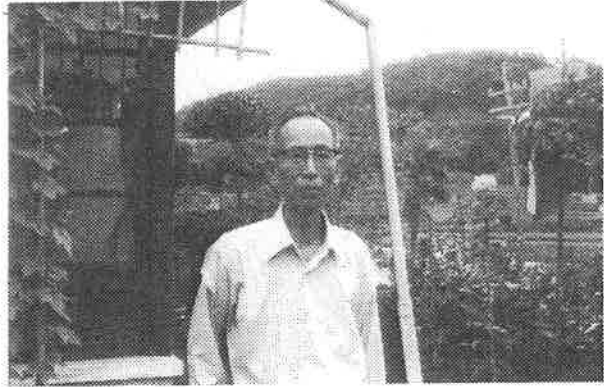
真先に発言用紙を提出した私は、三番目の発言者となる。被爆の実相の普及のため、広島・長崎の資料館、埼玉の丸木美術館と共に福竜丸展示館

の活用を訴える。ビキニ事件、福竜丸に関するものはその後の発言の中には聞かれなかったが、昼休みに持参した本やパンフ絵はがきなどを一つ一つ一人ひとりに訴えようと、予想以上の反応があり、たちまち売切れとなる。

告の中で「われわれ被爆者はひとりよがりの被害者意識をのり越え、世界のすべての押圧される人びとと連帯し、また長崎を非核の拠点とすると共に、科学・思想・芸術・文化の拠点にしていこう」という「長崎の証言の会」の鎌田定夫氏の理想がひとときわくわくひびく。多くの被爆者の参加、千羽鶴、拍手、全体を大きく包み込む熱気の中で、私はこのあと訪れようとするビキニ

わたんびと

秦小夜子



写真は平三義さん

カツと照りつける炎天での行動を予想していたのに、大会の八月の被爆地長崎は雨。一万余の参加者の情熱は燃え、慰霊碑に手をあわせる人びとの匂い

長崎を非核・科学・芸術の拠点に 真喜志さん・鎌田さんの確信と理想

真喜志康裕さんは鎌倉市の中学校の先生。発言は、母と子の原爆写真展、横須賀の母と子のすわり込みと続き、教師としての実践論に移る。地域に根ざした長年のたたかいたち報告は、その誠実な人柄とともに心に残る。

ていた。忘れられているビキニ事件を知らせるためには、もっと積極的に知らせる努力をしなければならぬ。デモ行進の予定の時間が近づくと、雨となる。かなり強い雨。帰り際、大切な機会をのがしてしまったような心残りを感じていた私の手を、櫛





原水爆禁止世界大会は全世界的に核兵器の狂気のような生産・配備が行なわれ、人類の生存そのものが危うくされ

原水爆禁止一九八一年世界大会 平和協会も積極的に参加

るといふぎりぎりの状況の中でかたてない燃えあがりを見せ、海外代表も三二カ国十三国際組織一四一名と多数にな

りました。平和協会も大会を重視し、国際会議に三宅会長、広田専務理事、本多理事、猿橋勝子評議員を代表として送り、長崎には本多理事と秦小夜子事務局員が代表参加。三宅会長が議長団に参加したほか広田専務理事が第三分科会(軍縮と平和教育の前進)に出席し、第五福竜丸展示館

8月6日・ひばくしや追悼集会 讚美歌の流れるなかで献花

長崎原爆被災の日の八月九日、展示館前の広場で「81ひばくしや追悼集会」がひらかれ、約50人の参加者が久保山さんの記念碑に献花、被害者への追悼と核兵器廃絶への誓いを新たにしました。

広田専務理事の開会の辞、三宅会長の主催者挨拶について、後援団体の日本宗平協を代表して、江戸川区安楽寺の

住職・伊藤説翁さんが読経し、黙祷をよびかけ。東京山手教会聖歌隊の若い四人の女性による美しい讚美歌の合唱の中で、白と黄の菊の花を献花。猿橋勝子さんの「世界にひばくしやを再び作らないために核兵器廃絶への行動をつよめましょう」とのあいさつで会を終了。ひばくしやに心かよ

わせた豊かなついででした。



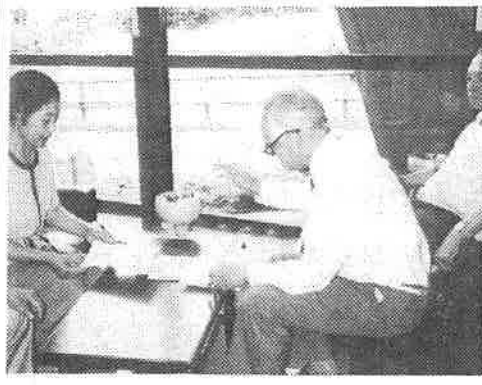
の平和教育上の役割、軍縮と平和教育の推進とミクロネシアの二つの報告を行ないました。この報告は大きな反響をよび、マーシャル地方代表のアンジャイン氏と広田氏が会談する一幕も新聞に報道されました。大会中にフランスのムルロア環礁での核実験、レーガン米大統領の中性子爆弾生産命令が出され、協会はただちに抗議電を打ちましたが、そのもとでの長崎大会は熱気に包まれていました(秦代表の活動は次頁をごらん下さい)。大会では、日英両文の「夾竹桃咲く夢の島の展示館へどうぞ」のチラシが配布され、ロンゲラップ、マーシャル、グアムの代表が平和行進とともに来館、アメリカの生存のための動員委員会代表ミルトン・ローエンタール氏らも来館されました。

原水爆資料室の開設

原水爆資料室開設募金いよいよ活発

大沢三郎氏夫人から三〇万円、目標の一割をこえる

胸あつくなる募金 福竜丸保存運動の育ての親の一人大沢三郎氏(東京都議)がなくなつて35日の八月十五日、大沢ユキ夫人から胸あつくなる募金によせられました。「夫の最も関係の深い展示館に役立って下されば」と香典の一部三〇万円を資料室開設



募金に贈られたもの。共産党東京都委員会統一戦線推進委員会事務局長中条達雄さんと共に展示館を訪れたユキ夫人は、迎えた広田館長、田沼肇協会理事と握手、募金を手渡されるとともに、当時のアルバム・資料を囲んで懇談、保存運動に力をそそがれた大沢さんをしのみました。大口の募金に決意あらた

募金開始後約一カ月、よせられる募金には大口も多く、帝国データバンクの後藤社長からは十万円の募金で第一号。新京都橋法律事務所七人の先生からは三万九千円が届きました。8月22日現在、到着順・敬称略) 沼田秀郷、浅野道風、浦久保五郎、帝国データバンク、佐々木

千代松、城丸章夫、柴田政利、早川康式、近江幸正、尾崎陸、山崎不二夫、近藤康男、乾孝、伏見康治、川合章、柴田翔、三宅榛名、北田芳治、中鉢正美、新京都橋法律事務所、松井康浩、津田玄児、宮川光治、小林正彦、満田繁和、水野邦夫、並木政一、三宅すず、いぬいとみこ、尾野弘子、大沢ユキ、岡部利良、戸倉恒治、三宅泰雄、猿橋勝子、服部学、田島英三、高橋昭博、広瀬勝巳、杉村行勇、高井義季。計 七十七万五千円

貴重な募金

真夏の球宴、高校野球で湧きに湧いた甲子園。その西宮市から、大きな贈り物がとどきました。前号でお知らせしたように西宮市では七月、市長が先頭になって、西宮市原水協主催の「ヒロシマ・ナガサキ原爆写真展」を開催。協会も後援しましたが、そのお

礼として、原爆写真展で市民が寄せた感想文集三冊と資料、期間中会場で集められた募金の一部がとどけられたもので金額は二万三千九百三十円。会場では六日間で八万円の募金があり、市の被爆者援護募金と広島の絵の保存と第五福竜丸保存にとわけた由。感激した協会では有効に使わせて頂くことにしました。

また、頂いた感想文の中には福竜丸にかんするものもいくつか。「第五福竜丸の大漁旗や服を見て犠牲となつた久保山さんの遺言を思い起した(47才・男性)」などがありました。西宮市ではいまから来年の企画を立案中とか、第二回国連軍縮特別総会へむけて、すばらしい計画とその成功が今から期待されています。

81年の夏・長崎で

原水爆禁止世界大会の中



原爆をにくむ心。原爆資料館の無言の証人の強い訴え。私にとって初めての長崎・始めての大会参加。語りつくせぬ感激。

原爆生身屋に似する発言が多い。被爆者と手をつないで広がった運動の成果、絵画・資料の展示、明日への伝言、アニメ「ピカドン」の上映などの創意工夫。これまでの運動の成果をさらに一層高めるため、被爆の恐しさを知った人びとをどう活動に入れられるかが、今後の課題として提起される。

私は参加しながら、十分に準備した上での発言ができなかったことを恥ずかしく感じ

日さんかそーと握ってくおる。八月九日。国際体育館で全体総会。次々に行なわれる報

立場をこえた運動の歩み寄り

資料館の堀池さん・ミサの人たち

長崎国際文化会館でいつもお世話になってる係の堀池清さんにお会いする。初めてのとくくみとして、8・9音楽と詩の夕べが開かれるとか。この一、二年、立場をこえた運動の歩み寄りが感じら

れるとのこと。「やっとここまで来ました」と感慨深げだ。資料館の一角に故永井隆氏のコーナーがあった。死の直前まで数々の本を生み出し世に送った「机」は、まず目をひいたレントゲン板を両側にはり合わせた小さなベニヤ板であった。

日が暮れると共に雨もやみ浦上天主堂へ向かう。ミサの最中であつた。ステンドグラスのオレンジの光が雨に湿った濃紺の世界で輝く。被爆当時医者より神父様を呼ぶ叫びの方が多かったという浦上の人々の心はいまも生きているのだろうか。

元 弥彦丸(ビキニ)の平さん

平三義さん。元弥彦丸の乗組員である。長崎駅からバスで約三時間。島原半島の最南端の口の津で奥さんと二人暮らし。縁側に面した静かな部屋の片すみに弥彦丸の模型がおかれていた。

ここには世界大会の余波は何もない。最近ようやく体調が良くなったという平さんの顔色は、一見病人とは思えないが、やはり長く起きていないという。

「病院の証明もあるし、会社の証明も、ビキニにおうたという証明もありましたから、もらえるじゃろうと思うたんですよね。もらえんすもんね。長崎・広島の前爆におうた人だけですもんね。水爆はできんのですよね」

原爆病院で精密検査を受けたかったという平さんは、被爆手帳の交付を受けられない現在、二週間毎の通院は国民保険しか使えない。法律の壁

は厚いという。個人の力ではどうにもならないとも。私は大会に参加した被爆者の人たちの姿を思い出す。そして平さん。なんと大きな隔りがあることだろう。

ビキニ事件は過去のことではないばかりか、その真相もまだつかみきっていない。平さんがたどった道は、ぶつかった壁は、水爆被災者ばかりでなく、これからますます広がるであろう放射能におかされる人びとのたどらなければならぬ道であり、ぶつからなければならぬ壁だろうか。



来館者の声から



いつも来て想うこと、それは「第五福竜丸」あなたが私達の目の前に、雄々しい姿を見せてくれていることです。

惨禍をのりこえ、日本人に、世界の人々に、とりわけ、私達の子供達に原水爆禁止を、あなたが無言のうちに語ることは、大きな力でもあるのです。

平和と民主主義、そして愛をこめて、あなたが夢の島の展示

館の中で、世界平和の実現をめざしてくれることを願っています。

今日、車の中で、長崎のニュースを聞いて、こちらに立ちよってみたが、私達の生れてくる以前に、これほどのことがあったと言う事すら知らずに生きてきたことを、はずかしいと思

日本人であるならば、声をかぎりに平和を叫びつづけることが使命ではないだろうか。

子供達三名と私。この事件が起きたのは、私が十二才の時だったので。心新たに見学させて頂きました。

原爆の千倍というビキニ水爆のおそろしさ。八月六日の毎年の広島での平和行事、続けなくては、と思

▼夏休みの銀座のデパートに、歌をうたい、たんかを切る姜女ロボットが飾られていました。思わず本物の人間かと立ちどまるほどの出来でした。

▼よく考えると、今の世の中にはロボットかと疑いたくなる化粧や衣服の美女が横行しています。出来合いの化粧品、デザイナーの服や靴、個性のないお仕着せ人間のなんと多いことでしょうか。

▼近頃の原水禁運動をみると、これまでの運動の型の如くの繰り返して、それも夏を中心の一種の流行の如くに行われて、秋風とともに静かになるように思われてなりません。

▼核兵器をめぐる情勢は、近來になくきびしいのに、原水禁運動だけは新味がなく、お仕着せに見えるのは、一種の取り越し苦労でしょうか。

編集後記

夏に思う 副会長 檜山義夫

また八月を迎えました。あの戦禍、飢えと苦しみ、戦争の終わった解放感を思い出しました。これは日本人の忘れてならないことであると同時に世界にむけ、もうこんなことが二度と起きないように努力しなければならぬと思

ひそかにしのびよる軍靴の音、大きく響く軍用機の音。どこかの国からはもつと軍備をしろといわれ、兵器で金もうけできる連中がわめいています。国際関係では日本こそ軍備縮少、撤廃を訴えるもつともふさわしい国ではないでしょうか。若い人の奮起を。

越谷中町 栗原

初めて来館した。夏休みなのに来館者が少ないのにびっくり。この展示館の存在さえ、あまり知られていないのではないかと、もつと広報の努力を

小宮弘之

福竜丸で久保山忌俳句会

9月23日——新俳句人連盟ほかがよくか

向日葵の種蒔いてこの地福竜丸

松岡白舎

数多い原爆句のなかでもビキニ事

久保山さん福竜丸で永遠の宿
これは、今年八〇歳になった土田五郎さんの句です。多くの関係者の努力が実って九月二三日、久保山忌句会が第五福竜丸展示館でひらかれることになりました。久保山愛吉さんの命日をしのび、原水爆への怒りと平和への愛をひろげようとすることで、協会評議員で俳人の浅野道風さんや、新俳句人連盟、原爆忌東京俳句大会実行委のよびかけです。

同人のみなさんだけでなく、協会関係者、さわやかな季節にひとつ俳句でも吟じようかという人びとにも広く参加をつのります。すみきった青空に赤とんぼ、潮風がほほにやさしい夢の島で、無言で語りかける福竜丸で、みなさんも一句、詠んでください。

なお、当日の作品は、選考会を経て、九月下旬、作品展が展示館で行なわれる予定です。

・81年九月二三日午後一時～五時
東陽町駅そばの木材健保会館



J.H

板垣 好樹

故松野 進

漁夫の手垢のビキニの証太繩に

松岡 白舎

朽ちるなよビキニの証芽吹く葦

みちのくたろう

ビキニ忌の船倉錆びて曲がる釘

高橋三樹雄

死の灰の雨街路樹は冬に入る

古沢 太穂

福竜丸去る背風刺してはきらめく

方法などについてアンケートを求め

あります。その中からいくつかを次に。

遺産と現在」特集とし、同人から、

「戦争と俳句の

句人」の八月号を、

また、新俳句人連盟は、会誌『俳

句集』は、「原爆被災の怒りと戦

争に反対し平和を愛する誠心をこめ

た鎮魂の句集」ですが、収められた

二八三〇句の中には、死の灰・ビキ

ニ事件・第五福竜丸にかんする句も

あり。その中からいくつかを次に。

件にかんするものは必ずしも多くは

ありません。この四月、原爆忌東京

俳句大会実行委員会が発行した『原

爆句集』は、「原爆被災の怒りと戦

争に反対し平和を愛する誠心をこめ

た鎮魂の句集」ですが、収められた

二八三〇句の中には、死の灰・ビキ

ニ事件・第五福竜丸にかんする句も

あり。その中からいくつかを次に。

件にかんするものは必ずしも多くは

ありません。この四月、原爆忌東京

俳句大会実行委員会が発行した『原

爆句集』は、「原爆被災の怒りと戦

争に反対し平和を愛する誠心をこめ

た鎮魂の句集」ですが、収められた

二八三〇句の中には、死の灰・ビキ

ニ事件・第五福竜丸にかんする句も

あり。その中からいくつかを次に。

件にかんするものは必ずしも多くは

ありません。この四月、原爆忌東京

俳句大会実行委員会が発行した『原

爆句集』は、「原爆被災の怒りと戦

争に反対し平和を愛する誠心をこめ

た鎮魂の句集」ですが、収められた

二八三〇句の中には、死の灰・ビキ

ニ事件・第五福竜丸にかんする句も

あり。その中からいくつかを次に。

件にかんするものは必ずしも多くは

ありません。この四月、原爆忌東京

俳句大会実行委員会が発行した『原

爆句集』は、「原爆被災の怒りと戦

争に反対し平和を愛する誠心をこめ

た鎮魂の句集」ですが、収められた

二八三〇句の中には、死の灰・ビキ

ニ事件・第五福竜丸にかんする句も

あり。その中からいくつかを次に。

9・23久保山愛吉記念集会へ

記念集会

81年9月23日(秋分の日)午前11時
第五福竜丸展示館前広場

主催/第五福竜丸平和協会
後援/東京都原爆被害者団体協議会
「国民法廷」大運動と被爆者援護法
東友会事務局次長 永 坂 昭
今日の核兵器完全禁止運動
医師・平和協会理事 本 多 喜 美

胸にしみる「福竜丸感想録」の発行

9・23にむけ「船を見つめた瞳」——同時代社から

記念碑に花一輪を、福竜丸と語らいを——
81年9・23久保山愛吉記念集会が近づきました。集会の準備と共に今年には多彩な企画がすすんでいます。出版と句会の開催もその一つ。

「毎号のたよりが楽しみます。声—感想録であり、それは展示館のたからもの一つです。そのたからものを全国に紹介しよう、その編集・発行作業がすすみました。題して「船を見つめた瞳—第五福竜丸展示館感想録」。

総合的な平和文集へと
展示館の受付の横の棚に、小さな地球儀とパラオの民芸品とならんでおかれた鋭筆げつりとなさなノート。そこに鉛筆がきで五年間毎日つづられた感想文は十九冊、二千余に達しました。この出版は、その大半をいくつかのジャンルにわけて編集したもので、開館一年—熱い瞳、子どもたちの瞳、若ものたち—未来への瞳、先生—平和への瞳お父さんお母さん—明日への瞳などに区分され、それぞれに簡単な説明が加えられています。

そのほか、三回にわたるアンケートの結果や、展示館の概要も資料として付され、写真・カットも多数とりいれられた総合的な平和文集。いろいろ発行される原爆写真展の感想文集とは一味ちがったユニークなものにしての編集者の希望が実って新進気鋭の同時代社が単行本として発行を引きうけ、いま九月二三日の発売めざして大車輪。序文を榎田ふきさん。三宅会長が後記をしるされました。表紙は広田館長の夾竹桃の花。

●四六判並製160ページ/定価八〇〇円。



J.H